

令和 8 年度第 1 回 防府市地域公共交通活性化協議会 議事録

■開催日時・場所

令和 8 年 6 月 3 日（水）午後 2 時から午後 3 時 3 0 分まで
防府市文化センター

■次第

1. 開会
2. 委員紹介
3. 会長・副会長の選任
4. 議題

報告事項

- （1）令和 7 年度公共交通の利用促進の取組について
- （2）防府市地域公共交通網形成計画（前計画）の総括評価について
- （3）山口県地域公共交通ビジョンの策定について（県交通政策課）

協議事項

防府市地域公共交通計画における令和 8 年度事業について

5. 閉会

■配付資料

	資料名
1	次第
2	資料 1 令和 7 年度公共交通の利用促進に向けた取組について
3	資料 2 防府市地域公共交通網形成計画の総括評価について
4	資料 3 山口県地域公共交通ビジョンの策定について
5	資料 4 防府市地域公共交通計画の概要
6	資料 5 令和 8 年度事業の概要
7	資料 6 玉祖・切畑デマンドタクシーアンケート結果について

■出席者名簿 敬称略・順不同

	区分	所属団体・役職	名前	出欠
委員	学識経験者	徳山工業高等専門学校 土木建築工学科准教授	目山 直樹	出席
	地域公共交通の利用者等	防府市自治会連合会 西浦地域自治会連合会長	吉村 廣樹	出席
		防府市老人クラブ連合会 小野地区老人クラブ連合会 会長	永田 吉孝	出席
		防府市障害福祉団体連合会 会長	中村 信也	出席
		市民代表	鐘方 義信	出席
	公共交通事業者等	防長交通(株) 乗合営業部長	河合 貴志	出席
		J Rバス中国(株) 生活交通活性化推進室長	吉崎 祐司	出席
		西日本旅客鉄道(株) 防府駅長	古村 敏彦	出席
		(有)野島海運 監査役	西山 寛	欠席
		(一社)山口県タクシー協会 理事	重舩 伸	欠席
		山口県交通運輸産業労働組合協議会 (私鉄中国地方労働組合防長交通支部 防府分会 書記長)	佐甲 敬志	出席
	道路管理者 港湾管理者	中国地方整備局山口河川国道事務所 交通対策課 専門調査官	石川 俊康	欠席
		山口県防府土木建築事務所 維持管理第一課長	吉岡 進	出席
		山口県防府港務所 主任	伊藤 克平	欠席
	警察	防府警察署 交通課 課長	岡本 武	出席
	関係機関	中国運輸局山口運輸支局 首席運輸企画専門官	寺崎 泰弘	出席
		山口県観光スポーツ文化部 交通政策課 課長	吉森 照通 (代理：田中 実)	欠席 出席
	計画作成市	防府市 総合政策部 部長	宮本 松典	出席
事務局		総合政策部 部次長	田村 裕之	
		総合政策部政策推進課 課長	安村 良輔	
		総合政策部地域振興課 課長	大村 雅俊	
		福祉部高齢福祉課 課長	作間 裕子	
		総合政策部政策推進課 課長補佐	福知 圭子	
		総合政策部政策推進課交通政策係 係長	川崎 雄樹	
		総合政策部政策推進課交通政策係 主任	津田 直輝	
		総合政策部政策推進課交通政策係 主任	鵜原 浩平	

※傍聴4名

■議事録

1. 開 会

2. 委員紹介

3. 会長・副会長の選任

会長は、防府市地域公共交通活性化協議会設置要綱第4条第1項に基づき、委員による互選の結果、目山委員が会長に選任。副会長は、同要綱第4条第1項に基づき、会長が宮本委員を指名。

4. 議 事

(1) 令和7年度公共交通の利用促進の取組について

事務局から資料1について説明。

A 委員 ノーマイカーウィークの周知は市広報のみか。
 バスまちスポットやサイクル・アンド・ライドの実施箇所を教えて欲しい。

事務局 ノーマイカーウィークの周知は、市広報以外に市政広報番組（ケーブルテレビ、YouTube）や商業施設へチラシを配布している。
 バスまちスポットは、バス停に近い公共施設や民間のスーパー、コンビニ等で実施している。
 サイクル・アンド・ライドも同様に、バス停に近く、駐輪場が整備されている公民館やスーパー等で実施している。

(2) 防府市地域公共交通網形成計画（前計画）の総括評価について

事務局から資料2について説明。

目山会長 目標未達成の項目がいくつかあるが、これは対策して改善するのか。
 例えば、人口カバー率について、頑張った結果、この程度で収まっていると捉える方が、本来的な姿だと考えるがいかがか。

事務局 この計画は、平成30年度に策定し、現在は、とり巻く状況が異なるため、ご指摘のとおり目標達成は厳しい状況であった。
 次期計画については、この厳しい状況を踏まえた上で適切な目標設定を行い、目標達成に向けて可能な限り取り組んでいくことを考えている。

目山会長 バス事業者の委員から、ご意見を伺いたい。

B 委員 ここ数年、利用者数が増加傾向となっている。
 コロナ禍からの回復に加えて、自転車の交通ルールが厳しくなったこともバス利用のきっかけになったと考えられる。
 また、令和 4 年、5 年で導入した ICOCA によりバスを利用しやすくなった面もある。
 今後も利用者増に向けて、できる限りの努力をしていきたい。

目山会長 ICOCA の便利さは私自身も感じている。ICOCA があれば広島や東京、大阪でも公共交通に乗るときに便利で、乗り継ぎもすごく楽になった。

(3) 山口県地域公共交通ビジョンの策定について（県交通政策課）

C 委員から資料 3 について説明。

目山会長 モビリティ基盤のデータは、公開されるのか。
 また、当協議会や市、専門家がどのように関わるのか説明して欲しい。

C 委員 モビリティ基盤データは、市や交通事業者などを対象に公開する想定。専門家との関わりは、今回設置する協議会において、委員や専門家等に話を聞きながら進めていきたいと考えている。

D 委員 地域公共交通ビジョンは広島県がすでに作成しているが、同じように進めるのか。
 モビリティデータ基盤についても、広島県と同様か。

C 委員 計画は、広島県と同様に、広域的な視点で地域幹線の位置付けも含めたものを考えているが、今後詰めていきたい。
 データ基盤は、広島県で作られたものと同様なイメージである。

協議事項 防府市地域公共交通計画における令和 8 年度事業について

事務局から資料 4、資料 5、資料 6 について説明。

目山会長 バスまちスポットはどのように周知しているのか。

事務局 対象施設にポスターを掲載して周知している。
 わかりやすい広報を検討する。

A 委員 ボランティア輸送支援事業について教えて欲しい。
 また、西浦地域にバスの停留所を新設することは可能かを教えて欲しい。

事務局 今年度は、ボランティア輸送支援をモデル事業として実施している。内容は、車両の調達にかかる経費（具体的に車両のリース料）に対して、月額 2 万円を上限として補助している。

今後、関係者の方々のご意見をいただきながら、補助水準や対象経費について検証し、来年度の本格運用につなげていきたい。

B 委員 西浦地域で、新しい路線を増やすには、運転士を増やすか、既存の運行路線を減便するか、どちらかが必要になってくる。その上で、バスを利用したいという希望であれば、新規路線の運行そのものは前向きに考えるが、なかなかその前段階で整理できない状況が近年続いている。

また、実際のバス利用需要を踏まえた検討が必要だと思う。

目山会長 路線網を組み直す作業は、ルート上にあるところにバス停を作るのとは異なり、調整が難しい。広域路線なので山口市や周南市との繋がりもあるだろう。

D 委員 デマンドタクシーのアンケートの結果について教えて欲しい。電話が面倒という意見が非常に多いように感じたが、将来的に、ネット予約などを検討される予定か。

事務局 現状では、電話対応のみということでタクシー事業者と協議しながら進めている。

貴重なご意見として、実施の可能性についても精査していきたいと思っている。

目山会長 病院の予約をしたら自動的にバスが予約されるようになると便利である。AI が発達していくと、いろんな手段が増えていく。将来的に検討を進めるよう期待している。

E 委員 計画には、「交通弱者に対する交通手段の確保に、自治会等地域が主体となって取り組む交通サービスへの支援」と記載があるが、具体的には何か。

また、高齢者、障害者に対するバスタクシー運賃助成をはじめとする高齢者等の移動支援の検討は拡充となっているが、どのような内容を想定しているのか。

事務局 自治会等地域が主体となって取り組む交通サービスへの支援については、ボランティア輸送に対する補助制度である。今年度、モデル事業として展開している。来年度以降、本格運用に向けて現在検討を進めている。

高齢者、障害者に対するバスタクシー運賃助成をはじめとする高齢者等の移動支援の検討については、資料 5 の新規事業として位置付けている。

「公共交通等あり方検討会」という、高齢者障害者を含めて移動支援を考える
市内検討会を立ち上げている。その中で、運賃助成について拡充等ができないか
検討を進めている。

5. 閉 会
